

会派/質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
つなぐ 谷尻 宣雄 (一問一答) 質問予定日 2月24日 午前10時～	防災	大雪による市民生活の影響について	1月24日からの降雪により、市内全域において様々な被害が発生した。大雪による市民生活の影響について伺う。	市 長 担 当 部 長
			① 国道9号、京都縦貫自動車道が通行止め、JRの運休などにより、陸の孤島となった現状について市長の所見を伺う。	
	行財政	「公共施設再配置計画」と財政について	② 市道の除雪計画についての考え方と対応について。	
			① 2月10日の新聞報道によると「公共施設の統廃合を夏ごろに全容を示したい。」と述べられたとあるが、今後の進め方と統廃合による財政、人口減少などの効果について伺う。	
都市計画	JR八木駅東口周辺整備事業の推進について	令和4年度の取り組み状況と今後の事業推進の考えを伺う。	市 長 担 当 部 長	
児童健全	放課後児童クラブ施設の充実について	園部第二小学校放課後児童クラブ「園部コスモス」の施設環境整備の現状と今後の進め方を伺う。		
活線クラブ 八木 信樹 (一問一答) 質問予定日 2月24日 午前11時10分～	危機管理	積雪対応と今後の対策について	1月24日、過去に類を見ない程の短時間で積雪により、交通機関だけでなく国道や市道、その他多くの場所で影響や被害が発生した。本市の積雪対応と今後の対策などについて伺う。	市 長 担 当 部 長
	農業	鳥インフルエンザについて	今年においても飼料・肥料・資材そして燃料費などの高騰により、農業、酪農、養鶏場など様々な分野の産業において仕入れなどの経費が上昇し、経営が圧迫されて大変な状況の中、全国各地では、鳥インフルエンザが発生している状況である。予防策、発生した時の対応などについて伺う。	
	子育て	保育の需要について	全国において保育の利用率が、年々増加傾向である中、本市においても昨年度、待機児童数が5人となるなど、保育の需要が高まっており、対策が急務となっている。現在の待機児童の現状などについて市長に伺う。	
	交通	地域公共交通の現状と今後について	新型コロナウイルス感染症の影響などにより、鉄道機関等を利用する人が減少する中、本市内での地域公共交通の利用状況の現状と今後について伺う。	
		JR山陰本線減便措置の早期復元ならびに西日本JRバス園福線存続に係る総決起集会について	2月25日(土)に開かれるJR山陰本線減便措置の早期復元ならびに西日本JRバス園福線存続に係る総決起集会の開催について市長に伺う。	
行政運営	本市のまちづくりについて	① 本市の行政運営は、限られた財政の中においても施設の修繕や子育て環境など幅広く予算を組み、行政運営を行っている。そのなかで今後、さらに本市を持続可能で発展していくには、本市の特徴を活かした魅力あるまちづくりが必要だと考えるが市長の所見を伺う。 ② また、まちづくりをしていく中で、安心安全な道路整備も必要であり、特に八木駅の国道側においては、車の利用率が多い割には、道路は狭く、歩行者にとっても大変危険である。そのなかで、地元住民による八木駅東口周辺整備促進協議会の組織が設立されているが、今後の八木駅東口周辺整備について市長の所見を伺う。		
至誠会 面村 好高 (一問一答) 質問予定日 2月24日 午後1時～	財政	財政運営について	① 令和5年度一般会計予算は約251億円と過去最大の予算編成となった。有利な起債である合併特例債の発行期限が令和7年度末に迫る中で、使い切るために予算規模が大きくなることは理解できる。ただ合併18年目を迎える中で、もっと平準化できなかったのかを伺う。また、合併特例債の限度額についても伺う。	市 長 担 当 部 長
			② 令和5年度の予算は財源不足で財政調整基金の半額以上を取り崩しての予算編成であり、財政は相当厳しい状況が伺える。その中で、科目別歳入予算では地方交付税、市税、各種交付金などが増額を見込んでいる。ただ、国の財政状況、景気、本市の地価下落などを考慮すると楽観視できないように思われる。これまでは比較的、歳入予算については厳しい見立てをす中で予算編成をしてきたように思うが、歳入に過大見込みはないか伺う。	
	③ 本市の財政は合併特例債の終了、人口減少による地方交付税の減額及び市税の減少などにより、歳入は減額の方向である中で、歳出は社会保障関係費などにより増加傾向であると思料する。今後は相当厳しい財政運営が予想され、大ナタをふるわなければならない状況であると思われる。そこで今後の財政の見通しについて伺う。			
公共施設	公共施設等総合管理について	① 本市が保有する公共施設は、令和2年度末時点で329施設であり、市民一人当たりの延べ床面積の自治体間比較では府下で3番目に多い現状である。財政負担の観点からも集約・複合化が必要であり、公共施設等総合管理計画、公共施設再配置計画、公共施設個別施設計画が立てられているが、具体的には進んでいない。思い切った公共施設の休止が必要なかで、今後の計画について伺う。	市 長 担 当 部 長	
		② 毎年多くの費用負担が発生している「八木バイオエコロジーセンター」の今後について伺う。		
動物愛護	「にゃんたん市プロジェクト」を通じての動物愛護について	「にゃんたん市プロジェクト」は猫の生態調査不足などにより、専門家や愛護団体から疑問の声が上がり修正を余儀なくされた。その点については真摯に受け止め、猛省を促したい。ただ、当プロジェクトの寄付金で地域猫の不妊、去勢手術費用を助成する事業は大いに評価するものである。今回は新聞記事により、このプロジェクトにネガティブなイメージがついてしまい寄付が集まらなかった。しかしながら、地域猫の不妊、去勢手術費用の助成制度は早期創設が必要と考えるが、所見を伺う。	市 長 担 当 部 長	
公明党 平田 聖治 (一問一答) 質問予定日 2月24日 午後2時～	福祉	安心で安全な子育て環境の整備について		① 0歳児の見守り訪問事業について伺う。
		② 家事支援員(産後ドゥーラ)の確保について伺う。		
	支え合い助け合う地域社会の構築について	③ 奨学金の代理返還への支援について伺う。		
		① 日常の買い物などへの支援の推進について伺う。		
日本共産党 南丹市議会 議員団 河野 啓介 (一括質問) 質問予定日 2月24日 午後3時～	ジェンダー平等	同性婚について	① 荒井秘書官罷免に至る一連の経過について市長の所感を伺う。	市 長 担 当 部 長
	医療	救急医療の逼迫と住民の安心・安全について	② 憲法13条、14条、24条を踏まえ同性婚は認められるべきではないか。	
			③ 本市でのパートナーシップ制度導入を求める。	
防災	雪害について	① コロナに伴う救急医療体制の逼迫現状について所感を伺う。	市 長 担 当 部 長	
		② コロナ第8波の感染拡大について市長の所感を伺う。		
		③ 政府によるコロナ5類移行とマスク着用の緩和策について所感を伺う。		
		④ 4月以降のみやま診療所の運営について伺う。		
新風会 塩貝 孝之 (一問一答) 質問予定日 2月24日 午後4時～	地域振興	地域特性・特色を活かしたまちづくりについて	① 1月末の大雪とその被害について市の対応を伺う。	市 長 担 当 部 長
		② 除雪の備えについて伺う。		
	行政運営	組織再編も視野に入れた行政運営について	③ 危機管理体制について伺う。	
			④ 今回の教訓を踏まえた防災対策について伺う。	
危機管理	防災施設整備状況について	各町一律の施策だけではなく、地域それぞれの実情に即し、特色を活かしたまちづくりが必要と考える。また、合併後16年を経てもまだまだ旧町意識はある。旧町意識がすべて悪いわけではなく、郷土愛を育むためにも大事にしなければならない。その上で本市として、4町の特性を活かした融合施策が必要と考え、現状の認識と展望について、市長の見解を伺う。	市 長 担 当 部 長	
		人口減少は全国的な問題ではあるが、特に過疎地においては重要な問題である。人口増が望めることが一番ではあるが、減少していく人口のなかで、本市の継続可能性を模索しなければならない。移住者を増やす努力も必要ではあるが、市内在住者を流出させない施策が必要であると考え、市長の見解を伺う。		
より円滑な組織運営のため副市長の2人制を今一度求めるが、市長の見解を伺う。	市 長 担 当 部 長			
定住促進や観光振興などひとつの部署では完結しない課題がある。横断的な運営はもちろんのことではあるが、担当する課題を整理する必要がある。公共施設の整理についても、地域振興なのか観光振興なのかなど、切り口によって施策も変わってくると考え、市長の見解を伺う。				
災害時等の対応について、危機管理対策室の役割が不明確だと感じる場面がある。非常時における組織運営について伺う。	市 長 担 当 部 長			
災害時相互支援体制構築事業の進捗状況と今後の活動体制について伺う。				

会派/質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
日本共産党 南丹市議会 議員団 小林 毅 (一括質問) 質問予定日 2月28日 午前10時～	市長の政治姿勢	閣議決定による「安全保障3文書」改訂、敵基地攻撃能力保有と大軍拡は許されない	憲法違反の敵基地攻撃能力保有、5年間で43兆円の軍事費増・大軍拡にきっぱり反対の立場を表明するよう求める。	市 長
	北陸新幹線延伸計画について	南丹市・京都にとって、多大の悪影響を及ぼし、利点ゼロの美山通過ルートは中止しかない	小浜京都ルートは破綻。市長が、「不安だ」の立場から一歩ふみ込んで、「小浜京都ルート中止」を表明するよう求める。「中止」表明は、南丹市の将来に希望を残し市民の利益に合致するもの。	
	住民福祉の増進	自治体の一番の仕事である「住民福祉の増進」(地方自治法)へ、市民の暮らしと経営を支えとりくみの施策化・具体化を	① 地域経済活性化の焦点である賃金引き上げへ、市ができることをやる。公契約条例を制定し従事者の賃金・報酬下限を設定、会計年度任用職員の時給引き上げ、法人へのケア労働者の賃金引き上げ要請、以上を提案する。いかがか。	市 長 担 当 部 長
			② 府の子ども医療費助成拡充を機に一部負担(200円・800円)をなくすこと、府の「子どもの教育のための総合交付金」を活用し学校給食費保護者負担の廃止(軽減)を求めたい。	
			③ 国民健康保険税について。法・条例にもとづく減免制度適用の状況はどうか。	
④ 介護の負担を軽くする。特別障がい者手当の受給状況と制度告知、認知症の人の障がい者手帳取得の状況と案内、高額介護サービス費払い戻しの状況と制度告知について聞く。				
⑤ 農業者緊急支援事業の継続実施を。酪農危機の中、市民へ国産生乳使用製品購入の啓発を強めてほしい。				
新風会 木村 裕 (一問一答) 質問予定日 2月28日 午前11時～	地域福祉の推進と地域防災力の強化	地域福祉を担う人材	① 昨年12月に民生委員・児童委員の改選が行われた。区等からの推薦に難渋されたところもあり、他団体では定数割れも生じている。この現状をどのように認識し、また今後も定数確保をしていくための方策をどう考えるか伺う。	市 長 担 当 部 長
		地域防災力の強化	② 地域には、区からの推薦で社協が委嘱するふれあい委員もおられる。見守り活動やサロン活動への参加を担われており、民生児童委員との役割分担と連携が求められている。その現状認識と市としての支援の在り方について伺う。	
	事務事業の執行能力の向上と職場風土の形成について	不適切な事務処理の発生原因究明と対応策	本年度だけでも複数の部署において不適切な事務処理が行われ、事後処理作業を発生させるとともに、本市業務への信頼も傷つける事態が続いた。担当部署、担当者の方にその責を帰すことができない事態と考えるいかがか。	市 長
人材育成と職場風土の形成	市役所全体としての意識改革を図り、人材育成と職場風土の構築が必要と考える。市長の見解を伺う。			
つなぐ 吉田 尋子 (一問一答) 質問予定日 2月28日 午後1時～	防災	日吉町における雪害対策について	① 道路の除雪が進まない中、道路状況が悪く、バスも運休となり、住民の移動が困難な状況となった。日吉町の生活を守る対策が必要ではないか。	市 長 担 当 部 長
			② 倒木による停電で厳しい生活を余儀なくされた市民がおられた。あらゆる状況を想定した防災計画が必要ではないか。	
			③ 情報提供に遅れがあった。市民の安心安全のための情報提供方法を整備するべきではないか。	
	環境	ごみ等の不法投棄対策について	① 市内における不法投棄の状況は。	
			② 課題解決に向けての現在の取り組みは。	
			③ 「美しいまちづくり条例」の中で、不法投棄に関する内容は。	
			④ ポイ捨てをなくすためには、罰則も含めた厳しい内容の条例が必要ではないか。	
活緑クラブ 村山 好明 (一問一答) 質問予定日 2月28日 午後2時～	地域振興・財政	ふるさと納税について	① ふるさと納税寄附金は、おおまかに3割が返礼品にあてられ、2割はふるさと納税サイトの手数料となりますが、返礼品の金額、通販サイト等の手数料金額・実質の自治体収入と、本市市民より、他の自治体へのふるさと納税額がいくらか伺う。	市 長 担 当 部 長
	林業	山林の保全について	② ふるさと納税担当者数の適正化、返礼品数、市内業者へのアプローチ、寄附者へのアフターフォローなどの状況及び長期的な計画・展望について伺う。	
至誠会 仲村 学 (一問一答) 質問予定日 2月28日 午後3時～	防災	雪対策について	先月発生した大雪での被害状況や今後の対策について伺う。	市 長 担 当 部 長
			① 電線・テレビの断線と水道の断水の予防や復旧体制を伺う。	
			② 大雪で道路の除雪が追いつかず苦情が殺到した。適切な除雪や凍結防止剤の散布、また除雪機、業者選定等を伺う。	
	教育	校則の服装(防寒着)について	ブラック校則と呼ばれる不合理な校則が全国的に問題となり、本市でも見直しが進められているが、「防寒着は学校指定のウインドブレーカー」と明記されている。これでは、寒くて辛いと聞く。早急な見直しが必要だと考える。	教 育 長 担 当 部 長
	教育環境	教室の暖房について	教室が寒くて辛いと聞く。勉強に集中できる温度や湿度等、最適な教室環境について伺う。	
交通安全	自転車ヘルメットについて	道路交通法が改正され今年の4月1日から全ての年代でヘルメット着用が義務化される。購入補助や着用促進啓発等を伺う。	市 教 育 長	
公明党 木戸 徳吉 (一問一答) 質問予定日 2月28日 午後4時～	危機管理	雪害対策について	① 過去において台風等における倒木被害が発生していた。一般質問を通じて提案もしてきたが答弁に対するその後の取り組みについて伺う。	市 長 担 当 部 長
			② 倒木等で停電が相次ぐ。電線を地中に埋設する等何らかの対策がないか伺う。	
			③ 除雪体制について府と協議して、府道、市道区別することなく対応できないか伺う。	
	水道	水道施設維持管理について	① 浄水施設が設置後年月を経て老朽化が進んでいる。今後の整備計画について伺う。	
			② 人口減少に伴う収入減と今後の維持管理について伺う。	
			③ 新庁舎竣工後、八木支所からの本庁への移転はどのように考えているか伺う。	
教育	美山山村留学センター「四季の里」の今後は	25年間の長きにわたり運営されてきた美山山村留学制度が、3月26日に閉じられる。関係者の皆様の長年に渡るご努力に対し敬意を表する。市長、教育長の所見を伺う。	市 教 育 長	

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
堤 博明 (一問一答) 質問予定日 3月1日 午前10時～	環境	脱炭素先行地域について	① 脱炭素先行地域選定に出される提案内容について伺う。	市 長 担 当 部 長
			② 脱炭素先行地域に選定されれば本市にとってメリットがあるか伺う。	
			③ 地域特性は重要なポイントと考えるが本市の特性としてどのような内容を考えているか伺う。	
			④ 農業から出来る環境問題について見解を伺う。	
	農業	農業での地域活性化について	① 農の学校について市長の見解を伺う。	
			② 跡地活用として旧小学校などを使った取組みを検討されてはどうか。	
つなぐ 山下 秋則 (一問一答) 質問予定日 3月1日 午前11時～	地域公共交通	山陰線(園部～胡麻間)のダイヤ改正による減便の影響について	本年3月のJR西日本のダイヤ改正により、山陰線園部～胡麻間で、さらに減便されるとのことである。この減便による市民生活への影響について、どのように認識しているか。また、その影響に対する対応はどうか。	市 教 育 長 担 当 部 長
		西日本ジェイアールバス園福線の現状について	昨年12月に西日本ジェイアールバスから、「園福線の運行維持は困難」との申し出があり、今後、関係機関で対応を協議されることになると考えるが、園福線全体の収支や運行状況、本市内の乗客数など本市の影響はどうか。	市 担 当 部 長
		地域公共交通の維持に対する基本的な考えについて	JR西日本の嵯峨野線(園部～亀岡間)、山陰線(園部～胡麻間)、そして、西日本ジェイアールバスと、本市に関わる公共交通機関の縮減の動きが顕著になってきている。車利用の増加や少子化、過疎化などで、鉄道や路線バスなどの維持が全国的に難しくなり、コロナ禍で困難さに一層拍車がかかっていると考える。地域交通を維持していくには、運行事業者の経営努力は当然のこととして、自治体のさまざまな取り組みが重要であるとともに、国として、地域交通をどう守っていくのか、その取り組みが今、必要と考える。地域公共交通の維持に対する市長の基本的な考えを問う。	市 長
	地域・観光振興	文化財保存活用地域計画の策定について	文化庁では「文化財の一体的活用と地域振興に向けた制度改革」として、文化財保護法を改正し、都道府県による文化財保存活用大綱の策定や、市町村による文化財保存活用地域計画の策定などを求めている。本市においては、美山北集落の「重要伝統的建造物群保存地区」はじめ、国・府・市指定の多くの文化財があり、地域振興の要素や観光資源として活用されているが、文化財をはじめ、その歴史も含めた「歴史文化」を生かした一体的で、戦略的な活用を増やしていくことが必要と考える。そこで、府内でも策定する自治体が増えてきている「文化財保存活用地域計画」を策定し、本市の歴史文化を生かした地域振興・観光振興にいかす考えはないか。	市 担 当 部 長
活緑クラブ 若井 睦巳 (一問一答) 質問予定日 3月1日 午後1時～	行政組織	本市の人材の確保について	① 新聞報道もあったが職員採用の状況と、職員採用に関する基本的な方針や考え方について伺う。	市 長 担 当 部 長
			② 少子化により、今後生産年齢人口は少なくなっていく傾向にあるが、人材確保についてどのように考えているか伺う。	
	公共交通	デマンドバスについて	① 利用者数に地域差があると聞いているが、その実態と原因分析について伺う。	
			② 大型のバスを運行している地域において、利用率が低い地域もあるのではないかと。その点についての見解を伺うとともに、そのような地域において、新たにデマンドバスを運行する考えはないか見解を伺う。	
			③ デマンドバスの停留所が集落から外れているとの声を聴く。停留所の位置などについてあらためて市民の声をきき設定しなおすという考えはないか伺う。また、停留所の標識をもっとわかりやすいものに変更するなど、利用しやすくするための施策等今後の方針があれば伺う。	
教育	部活動の地域移行について	① 部活動の地域移行については、教職員の働き方改革を目的とするところがあると思うが、現状、休日の部活動など、どれくらいの負担になっているのか伺う。	教 育 長 担 当 部 長	
		② 現時点では未確定の部分が多いと思うが、今後の方向性や考え方について伺う。	教 育 長 市 担 当 部 長	
活緑クラブ 下間 康広 (一問一答) 質問予定日 3月1日 午後2時～	農業支援	農業施設(ビニールハウス)の支援について	① 1月25日～末にかけての大雪により農業施設にも大きな被害が発生した。災害発生頻度を考えると、災害に強い補強に対する支援が必要である。市独自の支援があると聞くが内容を伺う。	市 長 担 当 部 長
			② 活用率が低いと聞く。活用されていない理由をどう分析されているのか、今後の対応について伺う。	
	ブランド戦略	南丹市ブランド戦略や広報について	① 本市として、市内のすべての生産・販売者の後押しができる支援が必要と考える。農林業・観光・地域活性それぞれの考えを伺う。 ② 事業を活発に、順調に進めるには農林・商工・観光・地域活性・広報と連携が重要になると考える。それと同様に、市内外への情報発信も重要になる。現状を踏まえ市としての考えを伺う。	
地域活性	地域資源・資産の有効活用について	1月に市として「南丹市ゼロカーボンシティ宣言」を宣言された。森林地域の多い本市の特色を生かし、地域の活性化と豊富な木質資源の有効活用を合わせ持った取り組みが必要と考えるが、市としての考えを伺う。		
樋口 浩之 (一問一答) 質問予定日 3月1日 午後3時～	空き家等対策	南丹市空き家等対策計画について	① 本市においては令和3年に策定された『南丹市空き家対策計画』に示される、多様な空き家活用支援事業が行われている。これらの支援実績を含め、本市における空き家対策の現状について伺う。	市 長 担 当 部 長
			② 政府が今国会に提出する空き家対策特別措置法改正案には、市町村が定める空き家活用を重点的に進める「促進区域」について、用途変更、4m以下の狭隘道路に接する空き家についての建て替え時セットバック免除などの特例が設けられるとのことであるが、本市における「促進区域」適用の見通しについて伺う。	
			③ 『南丹市空き家対策計画』の基本的な方針、「所有者等による適正管理の推進」「特定空き家等に対する適正管理の推進」について、それぞれの具体的な取り組み内容、特定空き家の実態、対策について伺う。	
			④ 『南丹市空き家対策計画』の基本的な方針、利活用の推進の項に述べられているリノベーションの推進について具体的な実施内容、今後の方針について伺う。	
まちづくり	リノベーションから考えるまちづくりについて	国交省、官民連携まちづくり事業の一つとして、実在する空き家を対象とし官民一体でビジネスプランをつくり出す取り組み(リノベーションスクール等)リノベーションから考えるまちづくりについての見解を伺う。		